

令和5年3月31日

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	環境美化 【事業費予算500千円】
事業目的・概要	ごみ拾いSNSを活用する等、ごみを拾う人を増やし、ごみを捨てる人の行動変容を引き起こすことで、ごみのないきれいな西区を目指す。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に委員自ら西区のごみの現状を調査し、廃棄物対策課や株式会社ピリカと意見交換を重ねることで見えた、西区が抱える環境美化の課題を解決するため、①ピリカを使った個人向け事業、②パートナー制度の2つの事業を実施した。 ・①【個人向け事業】 西区に在住・在勤する個人向けに、ごみ拾いSNSピリカを使った事業を実施。 8月1日～11月30日の期間にピリカ内イベントページをフォローし、「#にしくをきれいに」をつけて10回以上投稿した人に賞品をプレゼント。 【成果】 参加者：16名 総投稿数：126件 賞品受賞者：5名 ・②【パートナー制度】 第1部会で指定したごみの多い場所(重点ポイント)で、ごみ拾いできる団体を募集。 8月1日～11月30日の期間に海岸や高速道路側道、県市道沿線など、区内の様々な場所でごみ拾いを実施した。 当事業で使用のごみ袋を作成し、各団体に配布したほか、希望する団体にはのぼり旗を配布しごみを拾う際に活用いただいた。 【成果】 参加団体：16団体 延べ参加人数683人 ・①・②それぞれについて、区HPの他、西区自治協議会広報紙「西区を豊かに」にて広報を行った。
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西区に在住・在勤の方々の環境美化に対する問題意識の強さを感じることでできる取り組みとなった。 ・第1部会では引き続き環境美化に取り組むが、今年度の取り組みを通じ、少しでも西区民の環境美化意識の向上に繋がったのではないかとと思う。 <p>（個人事業では、西区にある多くのごみを回収することができ、その成果を全国のピリカユーザーと共有することができた。 パートナー事業では、従来より環境美化活動を行ってきた団体が参加することで、その取り組みを広報する機会にも繋がったほか、地域貢献に取り組みたい企業からも参加いただくことができた。）</p> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人事業では、アプリのダウンロードから使い方までの広報が不足しており、参加者数を増やすことができなかった。 ・パートナー事業では、各団体の活動を随時報告できる仕組みがあるとよかった。 ・取り組み初年度であったため、各事業の開始時期が遅くなってしまった。 ・次年度以降、市本課(廃棄物対策課)と意見交換の場を設け、市本課や地域で活動する団体等と協働して事業に取り組むことで、多くの方から参加いただくことができる事業を実施することができるのではないかと。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	支え合いの大切さ普及 【事業費予算 500 千円】
事業目的・概要	西区民が現在「支え合い」についてどのような意識をもっているのか現状を把握し、効果的な手法で支え合いの大切さを多くの西区民に広めることで、いざという場面で能動的に支え合いを行える人を増やす。次年度に効果的な手法で事業を実施するために、実態把握調査を行う。
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p>①「支え合いに関するアンケート調査」 対象者：西区内に在住・在勤、西区に関わりのある方 設問数：12問 回答期間：令和4年7月29日～令和4年10月14日 回答数：2,704名</p> <p>②「支え合い」に関するワークショップ 日時：令和4年10月29日 参加者数：25名 ワーク内容：①支え合いについて自分が行動できた経験・行動できなかった経験について話し合う ②「支え合い」を広めるために、西区で実現してほしいアイデアを考える</p>
事業の評価 <small>地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など</small>	<p>【地域課題の抽出方法とその解決策】 平成30年1月の大雪を機に、地域での支え合いの大切さが再認識され、普段からこのことを意識してもらうきっかけとして標語を募集した。標語を用いた啓発活動を昨年度行い、より広く多くの方に「支え合いに大切さ」を考えてもらう事業を検討するにあたり、まずは現在の西区における「支え合い」に関する認識を把握することとした。</p> <p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの回答について、各委員が自身の所属団体等に回答を依頼することで、幅広い年代の回答が集まった。また西区内における中学校にタブレットを用いてWEB回答を依頼することで、多くの回答を回収することができた。 アンケートを行うことで、全年代において「支え合いは大切である」という意識はもっているが、50代以下の世代においては、普段の生活において支え合いながら生活できているかという設問に対し、できていないという回答も多く見受けられた。 ワークショップにおいては、参加者を第2部会各委員の所属団体等に声をかけてもらうことで様々な年代・職種の方に参加していただくことができた。 ワークショップ参加者からも、当日の内容について「とても満足した」「どちらかという満足した」の声が9割を超えており、充実した事業となった。 西区において実現してほしい「支え合い」に関するアイデアについて、「毎月【5】がつく日は【ご】あいさつ感謝デー」と設定し、支え合いのきっかけとなるあいさつを広く実践するなど魅力的なアイデアを得ることができた。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> アンケートの回答やワークショップ参加者を依頼する際、働き世代(20代～50代)へのアプローチ方法があまりなく、事業参加者において多少年代に偏りが発生した。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	魅力の発掘 【事業費予算500千円】
事業目的・概要	西区にある広く周知された魅力や一部の人のみに浸透している魅力など、さまざまな魅力を深掘り・発信し、西区を好きになって住み続けてもらうことを目指す。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<ul style="list-style-type: none"> ・従来型の取り組みにより、事業を実施。 ・部会内でグループワークを行い、西区の具体的な魅力(西区の資源)を掘り起こし、掘り起こした魅力をマップに落とし込んだ。 ・西区自治協委員全員に西区八景を募集するアンケートを実施(6月本会) ・11月5日・6日に開催されたアートフェスティバルで第3部会の取り組みを周知するチラシを配布し、Instagramで「#にしくらし」「#西区八景」を付けた西区八景の投稿を募集した。 ・第3部会で掘り起こした魅力と6月に実施したアンケートで挙げた西区の魅力の中から、①田園と都市がバランスよく存在している、②人と自然の関りが見える、③西区の特徴が表れている、等の視点から「西区八景」を選定した。 ・選定した西区八景は、区ホームページや西区自治協議会広報紙に掲載したほか、チラシを作成し区内の公共施設に設置した。
事業の評価	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西区に点在する様々な魅力を掘り下げ、西区を好きになってもらうにはという観点から、西区の魅力を「西区八景」という形で発信することができた。 ・発信媒体にはインターネットだけでなく、紙媒体も活用することで様々な年代の方に魅力を届けることができた。 ・今年度選定した西区八景は、単年度ではなく長期的な事業として活用できる。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西区八景の選定に時間がかかり、周知にかける時間が足りなかった。
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	区ビジョン策定のための西区民アンケート 【事業費予算 800千円】
事業目的・概要	<p>○西区民が考える、現在のまちづくり計画に対する評価や、これから力を入れて取り組むべき施策分野についての考えを集約する。</p> <p>○西区役所と協働して、次期西区区ビジョンまちづくり計画を策定する際の参考とするとともに、西区自治協議会の今後の取り組みの参考とする。</p>
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>○調査票の発送による調査</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間 令和4年7月15日～7月29日 ・対象者 令和4年6月末時点で西区在住昭和32年4月1日から平成19年4月1日までに生まれた男女から無作為抽出された2,000人 ・回答者数 972件 ・回答率 48.6% <p>○WEBフォームによる一般募集</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期間 令和4年8月21日～8月31日 ・回答数 5件
事業の評価 <small>（地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など）</small>	<p>○事業を担当する運営会議のみではなく、本会の時間を用いて委員全体で、実施するアンケート項目を検討することで、多様な視点から考えるアンケートを作成することができた。</p> <p>○本会の場で委員全体で、アンケート項目について協議することで、議論の活発化にもつながった。</p> <p>○アンケートの回収率は半数近くとなり、多様な意見を集約することができ、次期西区区ビジョンまちづくり計画の策定のみではなく、今後の自治協議会の事業においても参考となる意見を得る事ができた。</p> <p>○西区役所と次期西区区ビジョンまちづくり計画の内容について議論する上で、アンケート結果を参考にすることでより区民の意見を反映した内容とすることができた。</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書

西区自治協議会

区分	内容
テーマ・事業名	地域の防災力向上 【事業費予算 300千円】
事業目的・概要	災害に対する区民の不安、防災・減災への疑問などを少しでも解消することで、いざという場面で区民が迅速に対応できること、命を守る行動がとれることを目指し、ワークショップや講演会を実施する。
事業の実施実績 (実施回数, 参加者数など)	<p>○災害に対する不安や、防災・減災に取り組む上での疑問を把握するために、西区自治協議会委員を対象にワークシートを配布し、意見を集約した。ワークシートに取り組む際は、委員個人に留まらず、所属団体からも意見を収集してもらい、幅広い意見を集約した。</p> <p>○西区自治協議会委員を対象に「クロスロード」という手法でワークショップを行った。各班2つのテーマについて、自分だったらどのように行動するか話し合いを行い、自分以外の価値観を共有した。</p> <p>○令和5年1月14日(土)に防災に関する講演会を実施した。 講師: 防災システム研究所 所長 山村 武彦氏 講演会テーマ: 日ごろから地震・災害に備えて私たちにできること 参加者: 123名</p>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<p>○「防災」という、誰もが自身に関連するテーマに取り組むことで、部会の垣根を越えて委員全体で活発な議論を行うことができた。</p> <p>○ワークショップでは、様々な母体から選出された委員同士で共通のテーマについて意見交換を行うことで、多様な意見が出され自身以外の価値観を知ることができた。</p> <p>○防災の専門家を招き講演会を行うことで、これから防災に対し取り組む際の知識を得ることができた。</p> <p>○講演会は西区自治協議会委員に留まらず、自治会や地域コミュニティ協議会など日ごろから地域の防災に取り組んでいる方にもご案内し、参加していただくことで、委員のみではなく、西区全体の防災力の向上につなげることができた。</p> <p>○講演会の参加者からは「非常によかった」「よかった」の声が9割を超え、充実した事業となった。</p> <p>○今年度は西区自治協議会委員を中心に事業を展開したが、今後はより多くの区民を巻き込んだ事業を行い、区全体の防災力向上に取り組めると良い。</p>
備考	

区自治協議会提案事業 事業評価書(案)

西区自治協議会

区 分	内 容
テーマ・事業名	<p align="center">第10回西区アートフェスティバル 【事業費予算 1,700 千円】</p>
事業目的・概要	<p>【目的】 ・西区全体の文化風土を耕して区の良さを再確認し、愛着を持てるようにする。 ・西区でアートの表現活動に取り組んでいるアーティスト等に発表の場を提供し、幅広く区民から知ってもらおう。 ・大学などと連携を深め、学術・文化豊かな西区の魅力を発信する。</p> <p>【概要】 ・西区自治協議会と新潟大学が共催で実施。 ・「音楽・芸能」分野の団体を対象にした発表の場として「アートフェスティバル」を実施し、音楽を通して区民の地域交流を深める。また、西区にちなんだ多様な「アート作品」展示を行う。</p>
事業の実施実績 (実施回数、参加者数など)	<p><おん×てっく～音と光のコーナー～> 令和4年11月5日(土) 13:00～17:00 黒崎市民会館 新潟大学工学部人間支援感性科学プログラムの学生がピアノ演奏や音楽作品によって、音と光が融合した空間を制作。</p> <p><音楽・芸能団体発表> 令和4年11月6日(日) 13:00～16:00 黒崎市民会館 新型コロナウイルスにより中止していたが、3年ぶりに開催。地域の7団体(うち1団体はビデオ放映)による演奏や踊りなどが披露された。</p> <p><アート作品展示> 令和4年11月5日(土)13:00～17:00、11月6日(日)9:00～16:00 黒崎市民会館</p> <p>【作品内容】 ①新潟大学工学部によるアート作品 ②アール・ブリュット作品 ③区内小学生の自由研究優秀作品 ④新潟国際情報大学写真部作品</p> <p><来場者延べ人数>:607人</p>
事業の評価 <small>(地域課題の抽出方法や企画立案の評価 事業の公益性・実効性・効率性の評価など)</small>	<p>◎アートフェスティバル 【地域課題の抽出とその解決策】 西区は、坂井輪地域・西地域・黒崎地域の3地域で構成されているが、西区が一体となった文化活動を行うため、アートの表現活動に取り組んでいる方々に発表の場を創出し、大学等と連携を深め区民の一体感の醸成を図った。</p> <p>【アンケート結果】 ◆調査方法：来場者を対象に当日アンケート配布を行い、退場時に回答。 ◆有効回答：384名(有効回答率63.3%) > 「おん×てっく(音と光のコーナー)」はどうだったか [とても良い…62.3%、まあまあ良い…27.4%、ふつう…8.5%、やや不満…1.8%、大いに不満…0.0%] > 「音楽・芸能団体発表」はどうだったか [とても良い…81.5%、まあまあ良い…12.9%、ふつう…3.9%、やや不満…0.6%、大いに不満…1.1%] > 「アート作品展示」はどうだったか [とても良い…63.9%、まあまあ良い…25.7%、ふつう…8.6%、やや不満…1.4%、大いに不満…0.4%]</p> <p>【評価(成果)】 ・普段接することが少ない学生との交流ができて良かった、との感想を来場者の皆さんから多数いただいた(おん×てっく、アート作品展示)。 ・3年ぶりに音楽・芸能団体発表を開催し、コロナで発表の機会が少ない地域団体の方に喜んでいただくことができた。 ・学生自ら企画・運営を行い、様々な作品や体験コーナーで多くの方に楽しんでいただくことができた(おん×てっく、アート作品展示)。</p> <p>【課題】 ・「音楽・芸能団体発表」では、来場者は身内が多く、身内の発表が終わると帰る人が多かった。 ・4年度で第10回が終了し、5年度は前例にとらわれず、一から企画を考えた方が良いのではないか。</p>
備考	